



## ALS関連膜タンパク質VAPB/Vap33のトポロ ジー制御と生理機能

千原 崇裕先生

広島大学大学院統合生命科学研究科  
教授



日時:2025年12月19日(金)18:15~19:15

場所:名古屋市立大学脳神経科学研究所5F会議室

**現地のみで開催**となりますのでご注意ください

### <要 旨>

一般に膜タンパク質は、小胞体膜に一度挿入されるとそのトポロ  
ジー（膜への挿入方向）は不変であると考えられてきた。しかし近  
年、同一の膜タンパク質であっても、小胞体膜への挿入時に異なる  
トポロジーをとる場合や、挿入後にそのトポロジーが逆転する現象  
が報告されつつある。我々は、家族性筋萎縮性側索硬化症（ALS）  
の原因因子としても知られる小胞体膜タンパク質VAPB/Vap33に着目  
した研究を進める中で、VAPB/Vap33が トポロジー変化を示すこと  
を見出した（Nat Commun 15:8777, 2024）。さらに、細胞外に露出  
したVap33が運動神経の樹状突起形態を制御することも明らかにし  
ている（Nat Commun, in press）。本セミナーでは、VAPB/Vap33の  
トポロジー変化に関する最新の研究成果を紹介するとともに、その  
生理的意義や今後の研究展望について議論したい。

世話人: 齊藤貴志(医学研究科・脳神経科学研究所・認知症科学分野)  
TEL: 052-853-8194, E-mail: saito-t@med.nagoya-cu.ac.jp

**\* 本セミナーは、名古屋市立大学医学会の後援で開催されます**